

福岡県青少年健全育成総合計画

福岡県青少年プラン | 2022 ▶ 2026



福岡県青少年健全育成総合計画 (福岡県青少年プラン)

概要版

発行日/令和4年3月
編集/福岡県人づくり・県民生活部私学振興・青少年育成局政策課

福岡県人づくり・県民生活部私学振興・青少年育成局政策課
〒812-8577 福岡市博多区東公園7-7
TEL 092-643-3134 FAX 092-643-3122
E-mail:shisei@pref.fukuoka.lg.jp

福岡県行政資料	
分類記号 JE	所属コード 5210103
登録年度 03	登録番号 0002



概要版

青少年が自立した大人として成長していくことは、県民全ての願いです。
 福岡県では、青少年の健全な育成を県政の重要課題として位置付け、「福岡県青少年健全育成総合計画(福岡県青少年プラン)」を策定し、関連する施策を総合的、計画的に推進しています。
 青少年を取り巻く状況の変化やこれまでの取組の成果を踏まえ、本県の青少年の健全育成施策をより一層推進するため、新しい福岡県青少年プランを策定しました。

計画の位置付け

福岡県青少年健全育成条例第8条第1項に基づく県の青少年健全育成のための総合計画として定めるものです。
 併せて、県政推進の指針である福岡県総合計画の分野別の計画とするとともに、子ども・若者育成支援推進法第9条第1項における「都道府県子ども・若者計画」としても位置付けています。

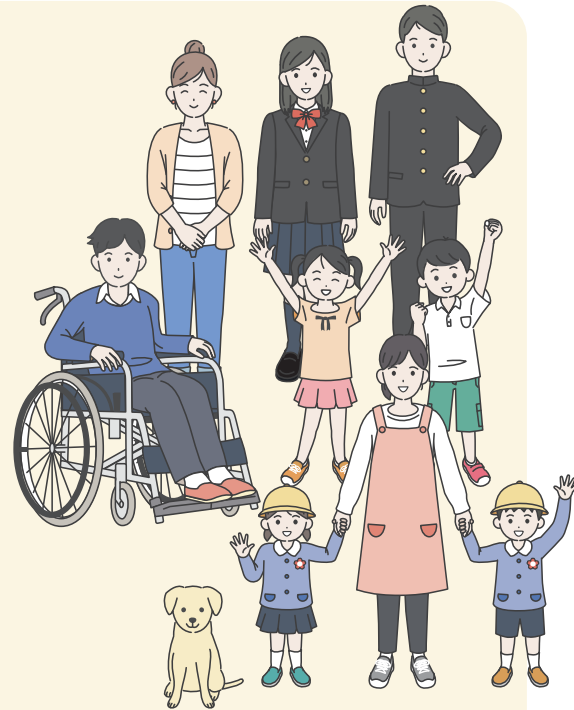
基本理念

人こそが「財」です。

これからさまざまな技術が発達したとしても、将来の福岡県をつくり、担っていくのは「人」です。

このため、次代を担う「人財」を育成することが必要です。

本プランでは、県内どの地域においても、充実した教育を受けられる環境を整えるとともに、青少年の皆さんが、自らの可能性に気づき、能力を磨き、チャレンジすることができる福岡県を目指して、家庭、学校、地域、企業、行政、それぞれが責任を果たしながら、連携して、社会全体で青少年を育むことを基本理念とします。



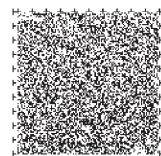
計画期間

2022(令和4)年度からの5年間とします。

対象とする青少年の範囲

乳幼児期の子どもから30歳未満とします。

なお、施策によっては、ポスト青年期の者(青年期を過ぎ、大学等において社会の各分野を支え、発展させていく資質・能力を養う努力を続けている者や円滑な社会生活を営む上で困難を有する者)も対象とします。



このマークは目の不自由な方などが使う音声コードです。

めざす青少年像

青少年が自分自身を大切にしながら、相手のことを尊重し互いの多様性を認め、思いやりの心を持って社会的な自立を果たせるよう「豊かな心と志を持つたくましい青少年」とします。

施策体系

<p>柱Ⅰ</p> <p>全ての青少年の「生き抜く力」の育成</p>	<p>基本目標1</p> 自ら考え、判断して行動し、意見を表明できる青少年を育てる
	<p>基本目標2</p> 青少年の健康と安全・安心を確保する
	<p>基本目標3</p> 青少年の社会的自立、社会参画をめざす
<p>柱Ⅱ</p> <p>未来を切り拓く青少年の応援</p>	<p>基本目標1</p> グローバル社会で活躍をめざす青少年を応援する
	<p>基本目標2</p> 青少年の新たなチャレンジを応援する
<p>柱Ⅲ</p> <p>社会的自立に困難を抱える青少年やその家族への支援</p>	<p>基本目標1</p> 困難な状況に応じて支援する
	<p>基本目標2</p> 青少年の被害・加害を防止し、保護する
<p>柱Ⅳ</p> <p>青少年の成長を支える環境の整備</p>	<p>基本目標1</p> 教育環境づくりを推進する
	<p>基本目標2</p> 家庭、学校、地域、企業、行政が連携し、青少年が健やかに成長できる地域社会をつくる
	<p>基本目標3</p> ウィズコロナ、ポストコロナを見据えた取組を推進する

計画の推進体制

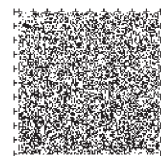
- 1 福岡県青少年問題協議会**

県議会議員、関係機関の職員、学識経験者、青少年支援団体の関係者等で構成される「福岡県青少年問題協議会」の下、このプランの実施状況を調査審議し、関係機関相互の連絡調整を図っていきます。
- 2 県の推進体制**

知事を本部長とする「福岡県青少年健全育成対策推進本部」の下、関係部局が青少年の現状と課題を共有し、連絡調整を図りながら、青少年育成施策を総合的かつ計画的に推進します。
- 3 市町村との連携**

「市町村青少年対策主管課長会議」等を通じて、必要な情報提供や調整等の支援を行います。また、市町村と緊密に連携し、地域の実情に応じた施策を展開します。
- 4 民間団体等との連携**

教育、文化、スポーツなど様々な分野で青少年育成活動を展開している民間団体や企業等と緊密な連携を図りながら、このプランを推進します。



このマークは目の不自由な方などが使う音声コードです。

【 施策の方向 】 4本の柱に、それぞれ基本目標を設定し、その目標に向けた施策を推進します。

柱I

全ての青少年の「生き抜く力」の育成

近年、情報化、国際化の急激な進展はもとより、これまで経験したことのない大規模災害や感染症の発生等、先を見通すことが難しい時代になってきています。

こうした予測困難な時代を、全ての青少年が自立して生き抜くことができるよう、育成していく必要があります。

基本目標①

自ら考え、判断して行動し、意見を表明できる青少年を育てる

- 1 学力の向上
- 2 体力の向上
- 3 豊かな心・人権意識の醸成
- 4 様々な体験・交流活動の推進
- 5 青少年アンビシャス運動の見直し
- 6 インターネット適正利用の推進

基本目標②

青少年の健康と安全・安心を確保する

- 1 健康教育の推進
- 2 安全教育の推進
- 3 相談体制の充実

基本目標③

青少年の社会的自立、社会参画をめざす

- 1 キャリア教育の推進
- 2 就労支援の充実
- 3 社会参画の推進
- 4 ジェンダー平等・男女共同参画の推進
- 5 特別支援教育の推進
- 6 不登校、ひきこもり等に対する取組の推進

柱II

未来を切り拓く青少年の応援

青少年一人一人が、自分の可能性に気づき、能力を磨き、様々な分野で才能を活かしながら大きくはばたくことができるよう、失敗を恐れず果敢にチャレンジする青少年を応援することが必要です。

基本目標①

グローバル社会で活躍をめざす青少年を応援する

- 1 世界にはばたく青少年の応援
- 2 外国語能力の向上
- 3 異文化理解力・対応力の向上
- 4 郷土の魅力を学ぶ活動の推進

基本目標②

青少年の新たなチャレンジを応援する

- 1 次世代の競技者や芸術家の応援
- 2 個性や能力を伸ばそうとする青少年の応援
- 3 次世代のリーダーとなる青少年の応援
- 4 様々な分野で担い手となる青少年の応援

柱III

社会的自立に困難を抱える青少年やその家族への支援

困難を抱える青少年に対しては、速やかに困難な状況を脱却又は軽減し成長できるよう、家族も含め、途切れなく、きめ細かな支援をする必要があります。

基本目標①

困難な状況に応じて支援する

- 1 障がいのある青少年への支援
- 2 貧困等の状況にある青少年への支援
- 3 社会的養護の充実
- 4 外国人の子どもや帰国児童生徒の支援

基本目標②

青少年の被害・加害を防止し、保護する

- 1 児童虐待の防止
- 2 いじめの防止
- 3 犯罪被害にあった青少年やその家族への支援
- 4 非行防止対策
- 5 自殺対策
- 6 非行少年等への立ち直り支援

柱IV

青少年の成長を支える環境の整備

家庭、学校、地域等が、青少年の成長の場、安全で安心な居場所となるよう、市町村や企業等とも連携しながら、青少年が健やかに成長できる地域社会づくり、環境整備を進めていくことが重要です。

基本目標①

教育環境づくりを推進する

- 1 ICT教育の環境整備と推進
- 2 教育機会の確保
- 3 学校、社会教育施設の整備
- 4 教員の指導力の向上
- 5 学校の体制整備と組織力の向上
- 6 幼児教育環境の充実

基本目標②

家庭、学校、地域、企業、行政が連携し、青少年が健やかに成長できる地域社会をつくる

- 1 家庭教育の支援
- 2 地域全体で子どもを育む環境づくり
- 3 安全・安心なまちづくり
- 4 有害環境への対応
- 5 子育て支援の充実
- 6 ひとり親家庭への支援
- 7 青少年の成長を支える担い手の養成
- 8 企業等におけるワーク・ライフ・バランスの推進

基本目標③

ウィズコロナ、ポストコロナを見据えた取組を推進する

- 1 ICTを活用した教育の推進
- 2 交流機会の確保
- 3 学校・施設における感染症対策
- 4 困難を抱える青少年への支援

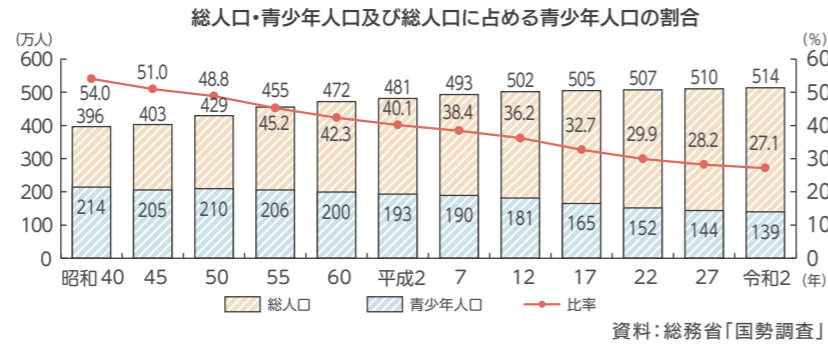


福岡県の青少年の現状



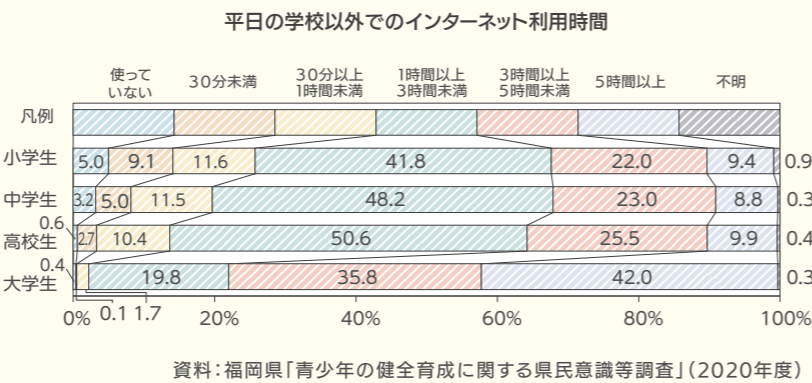
青少年の人口の減少

2020(令和2)年の国勢調査では、本県の青少年(0~30歳未満)の人口は1,393,906人となっており、総人口に占める割合は、27.1%となっています。



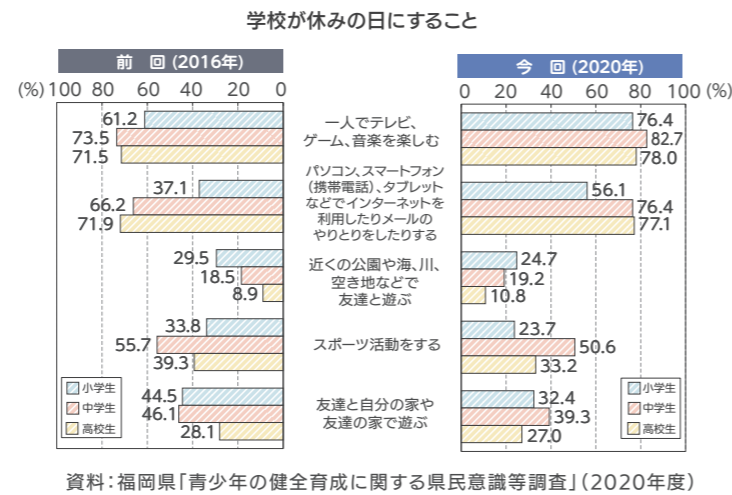
インターネットの利用時間

小・中・高校生の3割、大学生の8割が平日に学校以外で、3時間以上インターネットを利用しています。また、インターネットの利用により、「増えたり、広がったりした」回答が多いのは、小・中・高校生のすべてで「生活の楽しさ・面白さ」、中・高校生で「友達とのコミュニケーション」、高校生で「新しい知人を得る機会」です。一方で、「減ったり、狭まったりした」回答が多いのは、「睡眠時間」、「読書時間」、「学習時間」で、年齢が上がるほどその傾向が強くなっています。



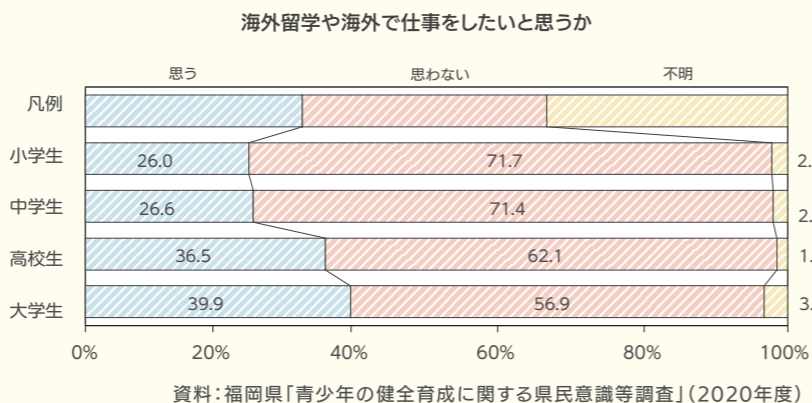
学校が休みの日にすること

小・中・高校生いずれも「一人でテレビ、ゲーム、音楽を楽しむ」が7割以上と最も多くなっています。前回調査(2016年度)と比較すると、「パソコン、スマートフォン、タブレット等でインターネットを利用したり、メールのやりとりをしたりする」は小・中・高校生すべてでやや増加している一方、「スポーツ活動をする」、「友達と自分の家や友達の家で遊ぶ」は小・中・高校生すべてでやや減少しています。



グローバル化に向けた意識

保護者の7割以上が、子どもが海外に出ることに賛成しているのに対し、小・中学生の7割、高校生・大学生の6割前後が、海外留学や海外で仕事をしたいと思っていません。その理由としては、小・中・高校生及び大学生のすべてで「語学の自信のなさ」が最も多くなっています。



県民の皆さんへのメッセージ

青少年の皆さんへ

学童期 6歳~12歳

- 1 早寝・早起きをして、朝ごはんをしっかり食べましょう
- 2 きちんとあいさつしましょう
- 3 家では手伝いを、外では仲間と元気に遊びましょう
- 4 本を読みましょう
- 5 相手の話を良く聞き、自分の意見をきちんと伝えましょう
- 6 世界の人々の暮らしや文化に対して関心を持ちましょう
- 7 交通ルールをしっかりと守り、横断歩道では、止まって、見て、合図を出して、待ってから渡りましょう
- 8 ゲームやスマートフォン、SNSの使用に関して、家庭でルールを作り、作ったルールを守りましょう

思春期 12歳~18歳

- 1 自分を大切にするとともに、相手のことを尊重し互いの多様性を認め、思いやりの心を持ちましょう
- 2 相手の話を良く聞き、自分の意見をきちんと伝えましょう
- 3 自分の言動に責任を持ち、社会のルールを守って行動しましょう
- 4 夜更かしを避け、睡眠時間を確保しましょう
- 5 読書を楽しみましょう
- 6 積極的に地域の行事に参加しましょう
- 7 自転車やバイクを運転するときは、交通ルール・交通マナーを守って運転しましょう
- 8 ゲームやスマートフォン、SNSの使用に関して、家庭でルールを作り、作ったルールを守りましょう
- 9 外国語をしっかりと学び、世界の人々と積極的に交流しましょう
- 10 課題に対して、まず自分でしっかりと考え、その上で、多様な価値観を持つ人と互いに理解し合い、力を合わせ、課題解決に取り組みましょう
- 11 失敗を恐れず、夢や目標を持ち、その実現に向けて努力しましょう

青年期 18歳~30歳

- 1 失敗を恐れず、夢や目標を持ち、その実現に向けて努力しましょう
- 2 社会の一員として、積極的に地域社会に関わりましょう
- 3 国際的な広い視野を持ち、世界の人々と積極的に交流しましょう

保護者の皆さんへ

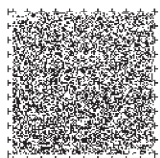
- 1 乳幼児期は、スキンシップや語りかけをしっかりと行いましょう
- 2 睡眠の重要性を親子で共有し、早寝・早起き・朝ごはんの習慣をきちんと身に付けさせましょう
- 3 子どもに向き合い、しっかりと話を聴きましょう
- 4 子どもが持っている良さや伸びを見つけ、積極的にほめましょう
- 5 良いこと、悪いことをしっかりと教えましょう
- 6 お手伝いをする機会をつくりましょう
- 7 子どもが欲しがるとも、物を与えないようにしましょう
- 8 子どもと一緒に通学路を点検し、安全な通行方法と正しい交通ルールを教えましょう
- 9 ゲームやスマートフォン、SNSの使用に関して家庭でルールを作りましょう
- 10 仲間と外でしっかりと遊ばせましょう
- 11 子どもは親を見ています。自分の行動や言動をふり返りましょう
- 12 子どもが成長の過程でつまづき、失敗したとしても、立ち直ることができるよう、寛容な心で接することを心がけましょう
- 13 家庭の役割を再認識し、親子のふれあいや絆を大切にしましょう
- 14 子育てに悩んだら、抱え込まずに周囲の助けを借りましょう

地域の皆さんへ

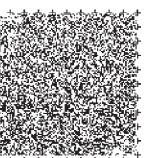
- 1 地域の子どもの生活や活動に関心を持ちましょう
- 2 地域の子どもの良い行為はしっかりとほめましょう
- 3 地域の子どもの悪い行為は、危ないことをした時は、諭しましょう
- 4 子どもたちがみんなで元気に楽しく遊ぶことができるような地域をつくりましょう
- 5 子どもに関わる地域活動に積極的に参加しましょう
- 6 子育て中の親や家庭を地域で助け合いながら、サポートしましょう
- 7 子どもたちが安全に遊び、活動できるように、子どもたちを見守りましょう
- 8 大人自身が自分の行動や言動をふり返りましょう
- 9 地域の大人同士、交流を豊かにしましょう
- 10 人生の先輩として、自分の経験や夢を語りましょう
- 11 子どもたちが成長の過程でつまづき、失敗したとしても、立ち直ることができるよう、寛容な心で接することを心がけましょう

企業の皆さんへ

- 1 仕事と家庭の両立可能な職場づくりに努めましょう
- 2 従業員が地域活動やボランティア活動、PTA活動等に積極的に参加できるように配慮しましょう
- 3 従業員をゲストティーチャーとして派遣するなど学校と積極的に関わらしましょう
- 4 職場見学や職業体験を受け入れ、働くことの素晴らしさを青少年に伝えましょう
- 5 国際的な広い視野や、志を持つ青少年の育成に積極的に関わらしましょう
- 6 青少年を健全に育成するためにも、企業モラルの向上に努めましょう



このマークは目の不自由な方などが使う音声コードです。



このマークは目の不自由な方などが使う音声コードです。